

Academic Commons Supporter

ACSとは (2013年5月～活動開始)

- ・ 図書館の課題を学生自らが発見し、解決に向けて取り組む
- ・ 大学内外の個人・組織と協力関係を築き、東京大学が進める「新図書館計画」(2010年始動)の一環として発足した、**東大生によるボランティア組織**。

活動拠点
総合図書館
(東京・本郷キャンパス)

メンバー
13名 (2015年7月現在)
学部生2名・大学院生11名
(本郷・駒場・柏の各キャンパスから
さまざまな専攻の学生が集結!)

活動期間 約1年 (5月～翌3月)

大学情報 学部学科数: 10学部、15研究科、11研究所
在籍学生数: 約27,000名
(学部生: 約14,000名、大学院生: 約13,000名)



新図書館計画とは

総合図書館を大幅に拡充し、
教育と研究のための新たな拠点とする計画。

《新図書館が目指すもの》

1. ハイブリッド図書館
2. 国際化時代の教育を支える図書館
3. アジア研究図書館
4. 社会にひらく図書館
5. 出版文化を支える図書館



活動① 広報: ACSの活動をつたえる・ひろげる

1. ウェブサイトの情報デザイン

～図書館の役割とは?～

- 【従来】**
- ・ メディア(本・映像etc.)ごとに
分けて扱う
 - ・ どの情報にも平等に
アクセスできることが重要
+
- 【+α】**
- ・ 多様なメディアの情報を並列に扱う
 - ・ 発信者が重要と思う情報を
ピックアップ・編集



2. 新図書館計画を伝える

インタビュー

“圧縮”されている
公式発表で伝えられる情報

↓
計画の背景にある考えや意図を
インタビューの形で伝える!

←
第1回 (2014年4月18日)
石田 英敬前副館長へのインタビュー
の様子

第2回 (秋頃予定)
久留島 典子館長と堀 浩一副館長
へのインタビューに向けて、
現在準備中!



3. ニュースレター『図書館の窓 増刊号 New Library Project』の編集

現状の計画を広く、
学生にわかりやすく発信!



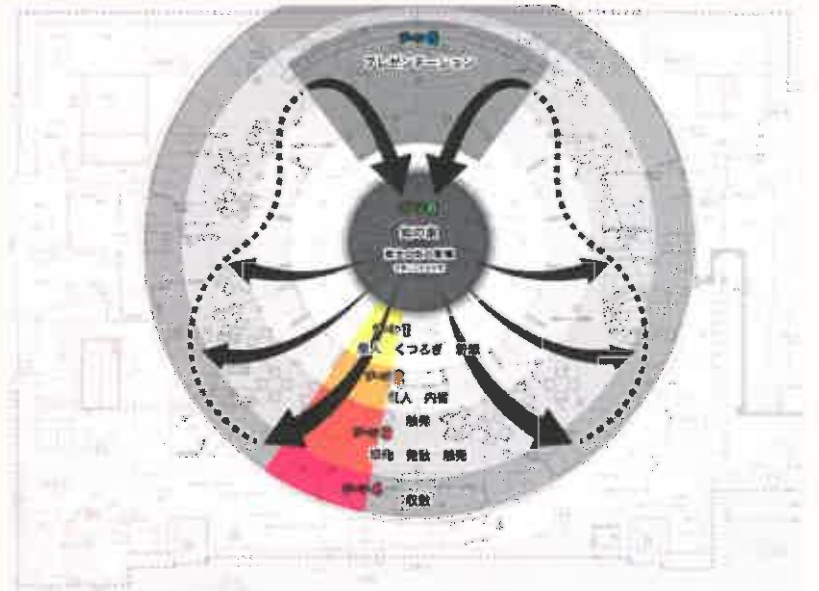
活動② フロアプラン検討: 未来の図書館をつくる

総合図書館新館の地下最上階のデザイン

- ・ 学生が相互に学び合い、知を立案する場所
- ・ 本や学術情報の世界へ入っていく場所

をつくりだす空間とは?

ライブラリープラザ検討図



ゾーン1

気軽に立ち寄り、読む、
知の泉に静やかに触れ、
発見される空間

ゾーン2

ひとりで学びつつ、
新しい知との
出会いに開かれる
空間



ゾーン3

オープンなグループ学習、
議論、ブレスト、
発表する空間

ゾーン4

半クローズドな
グループ学習。
知やアイデアを収斂、
形にする空間



ゾーン5: アカデミックステージ

知の発信と共有、
成果発表、
研究内容・研究方法を
共有する場



ゾーン6: 噴水下の象徴的意味とは?

「知の泉」「知の貯水池」という
図書館使命の原点として、
地下書庫の音階から湧き上がり、
上空から降ってくる「知」を受け止めるイメージ

